

中部電力による電気料金値上げ申請について
意見陳述概要

平成 25 年 11 月 7 日 (木)
名古屋商工会議所

○電気料金の値上げは、電力供給の制約とあいまって、国際競争力の低下と空洞化を加速させることにつながりかねず、国力の低下を懸念する。

○経営基盤の弱い中小企業には、料金値上げの影響の度合いは大きく、深刻な事態に追い込まれかねない。

○以下の二点について要望したい。

1. 中部電力の一層の経営努力により、値上げ幅を極力圧縮していただきたい。

- ・電気料金の値上げは、中小企業には価格転嫁が難しく、経営を大きく圧迫する。
- ・製造業集積が高い中部地域では、電力を多量に使用する製造業者も多く、地域経済の減速や空洞化が懸念される。
- ・料金値上げが消費税増税の時期と重なることから、政府には、一層の景気対策や電力依存度の高い中小企業の負担軽減策などもお考えいただきたい。

2. 安全性が確保された原子力発電所を速やかに再稼動していただきたい。

- ・当面の電力の安定供給と電気料金上昇の抑制のためには、原子力発電所の再稼動が不可欠で、再稼動が進まないと、料金の更なる値上げにつながる恐れがある。
- ・原発の安全性の強化を着実・迅速に進め、安全性の審査を厳格かつスピーディーに行っていただきたい。また、原発の立地自治体や国民への十分な説明を、国が前面に立って行っていただきたい。
- ・再稼動の進捗によっては、将来的に、現在の料金水準に戻す努力もお願いしたい。

以上